

弓道なごの

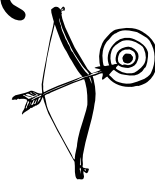
第34号

発行：長野県弓道連盟
会長 山川茂樹
〒396-0025
伊那市荒井3919-3
TEL.0265(72)3060
編集：県弓連広報部
印刷：榊宮澤印刷

巻頭言

平常心(身)について

長野県弓道連盟副会長 清水 克也



弓道の「善」の項目である倫理性を重視して、心的態度「平常心」を失わな

いことが大切であると云われている。平常心とは、国語辞典によれば『普段と変わらないで行動できる落ち着いた心、或いは日常生活の延長に過ぎないと思っていられるような冷静沈着な心理状態を云う』とある。

また平常心とは、宮本武蔵の不敗の

弓道の最高目標は、教本にも書かれている通り「真・善・美」の探求である

が、各種スポーツにおいても、

極意「五輪書」を読む(久米勲著)の中で、『顔はうつむかず、あおむかず、傾げず、ゆがめず、目をキョトキョトせず、顔にはしわを寄せず、眉間にし

わを寄せて目の玉を動かさないようにし、瞬かないような思い

で少し目を細め、ゆったりとして

いる状態』を云うとある。即ち正しい姿勢と云われる基本姿勢・基本動作のことであると思

われる。



小諸懐古射院竣工式典での巻藁射礼

我々は、各種大会や審査会に参加することがある。その時は、極度な緊張は避け、普段通りの射を心掛けよ。そうすることによって必ずや初期の目標は達せられるであろうと論される。しかし実際には思うように心も身体も云うことを聞いてくれないことの方が多

い。いつも反省又反省のくり返しである。平常心を保つためには、広く真つすぐな心を持ち、緊張したり、弛緩したりすることなく、偏らないように真ん中に置いて、何事かにとどめず常に流動自在の状態にすることだ。そして一瞬たりとも止まらないように注意を怠らないことだと云う。何事につけ、心をいつも同じ状態にしておく平常心と

は実に難しいことだと思ふ。

また大射道(安沢東宏著)に書かれている体正の射と動忘の射の中で、『心正しければ、体自ずから正しく、体正しければ射また正し、心気動揺し理性を忘却すれば射は乱れるのみ』との確に指摘されている。

弓道修練の眼目は、人間完成の必要性でありそれにより人生をより豊かに高めてゆくものと考ええる。

講習会などで何時も云われている基本に忠実な弓射の練習こそが、自然体をつくり、平常心を育んでくれるものと思う。この為に一射一射心を引き締めて練習あるのみであると猛省している次第である。最近では最高の自分を引き出すためにメントレの稽古を積むことによって心が養われるという考え方も生まれ、これも事実である。「心・技・体」と云われるように、最高のパフォーマンスを生むためには、心の強化も大切だと云うことだ。今や弓射は修養法としてのみならず深い哲理の上に立ち、且つ保健体育上の生理をも考えて渾然融和してきていると思う。

最後に「常々の稽古をしめてする人は、晴れなる時も心まどわず」と云う小笠原流教歌を想い出し、一步前進してゆきたい。

一步前進してゆきたい。

全弓連評議員会報告

評議員 県弓連副会長 外蘭 公毅



平成二十二年度の全弓連定時評議員が五月二十八日東京で行われ、県弓連からは評議員である山川会長と外蘭が出席してきました。その概略を報告します。

全弓連の事業年度は四月から翌年の三月までとなっております。評議員会は三月と五月に行われます。三月は通常評議員会、五月は定時評議員会となっております。三月の通常評議員会では、翌年度の事業計画、収支予算計画の協議がなされ、役員改選時(任期二年)には会長のみ改選が行われます。本年度は役員改選の年に当りましたが、今度は制度改革の重要な時期でもあるので鈴木会長の続投希望の声の評議員の中から上り、再選されました。また報告事項として公益法人制度への移行に関わる制度改革対応セミナーの概略が外部委託コンサルタントから説明されました。また、制度移行に対応できるよう

に現規則寄附行為の変更についても説明があった。

五月の評議員会は二十一年度事業報告書、決算報告書の協議が主であるが、事前に資料が送られてきていることもあつて、まったく簡単な説明で終わった。決算報告も報告書四十ページの中で一箇所、一般正味財産が期首より期末が約八千万円減になったとの説明で終わった。

三月寄附行為の変更で役員の増員があり、これまでの理事が十三名以上二十名以内、うち会長一名、副会長二名以内、常任理事三名以内から理事二十名以上二十五名以内、うち会長一名、副会長四名以内、専務理事一名(新設)、常務理事三名以内となった。今回定時評議員会で副会長、理事の選任が行われたが、副会長の選考方法で一悶着があった。選考委員を立てて選考する意見と会長に一任という意見に分れ、更にその二方法を挙手か投票で決めるかで分れ、結局投票で会長一任に決定した。鈴木会長より現行の副会長、山下範士、石川範士に加え、吉本清信範士

の推薦があり、承認された。副会長四名の枠があり、制度改革等重要な時期であるので一名増員の意見も上つたが、会長より三名体制でよいとの決定がなされた。

公認スポーツ指導者について

評議員会終了後の祝賀会の席で二十一年度功労者の表彰が行われ、長野県からこの春、教育、文化、スポーツ功労で瑞宝双光章を叙勲された齋藤節朗先生が表彰されました。

公認スポーツ指導者については、毎年二月に日体協から各県体協を通じて各競技団体に日体協の委託事業として養成講習会を行うかの申し込みがあると聞いていました。県弓連としては早目に取得希望者の把握をしておいた方が良いでしょうと昨年の十二月に各支部長を通じて取得希望者の募集を行い、一月末締切の時点で百名近い希望がありました。あまりの多さに専門科目の講習会の対応が懸念されました。その時点では、通知書にも書いておきました

が、専門科目の免除は申請中であり、決定しておりませんでした。二月九日付で全弓連から専門科目の受講免除の案内があり、その内容については既に通知してありますのでご存知のことかと思いますが、予想以上の免除条件の緩和内容に驚きました。その時点では専門科目と共通科目は併行して行っても良いとの県体協、全弓連の見解でしたのでそのように県弓連と

しても準備しておりました。各地連あるいは各県体協から日体協へ同じような問い合わせがあつたらしく、五月一日付と五月十三日付で全弓連から専門科目免除の場合の資格取得あるいは共通科目受講についての通知が出されました。この内容については五月十七日付県弓連山川会長名で免除対象者、役員に配付された通知の通りです。

専門科目免除対象者は七月十八日の上級者伝達講習会を受講し、免除条件二、三の方は課題についてレポートを提出することで専門科目の修了証が発行されます。免除対象外の方は七月十八日松本市弓道場で第一回目の専門科目講習会を行います。詳細につきましては後日連絡致します。



第六十一回全日本弓道大会(京都) 有段者の部 二度目の挑戦で見事優勝!

高山 寿恵 四段(飯伊支部)

“信じられないご褒美”

高山 寿恵



第六十一回全日本弓道大会は私にとって二度目の挑戦でした。

私は普段、豊丘弓道場で練習していますが、

時々、飯田の道場へ行き藤澤敏子先生や飯伊の先生方にご指導頂いています。

また一昨年より国体の選手に選んで頂き、強化部の先生方にご指導頂いています。強化して頂き三年目になりましたが、なかなか成長することができず、練習ではできていたことも、場所が変わったり、大会になると、自分でもどう引いているのか分からなくなっており、結果が出せないということがよくありました。

昨年、飯田の道場へ行き藤澤敏子先生や飯伊の先生方にご指導頂いています。また一昨年より国体の選手に選んで頂き、強化部の先生方にご指導頂いています。強化して頂き三年目になりましたが、なかなか成長することができず、練習ではできていたことも、場所が変わったり、大会になると、自分でもどう引いているのか分からなくなっており、結果が出せないということがよくありました。

昨年、飯田の道場へ行き藤澤敏子先生や飯伊の先生方にご指導頂いています。また一昨年より国体の選手に選んで頂き、強化部の先生方にご指導頂いています。強化して頂き三年目になりましたが、なかなか成長することができず、練習ではできていたことも、場所が変わったり、大会になると、自分でもどう引いているのか分からなくなっており、結果が出せないということがよくありました。

昨年、飯田の道場へ行き藤澤敏子先生や飯伊の先生方にご指導頂いています。また一昨年より国体の選手に選んで頂き、強化部の先生方にご指導頂いています。強化して頂き三年目になりましたが、なかなか成長することができず、練習ではできていたことも、場所が変わったり、大会になると、自分でもどう引いているのか分からなくなっており、結果が出せないということがよくありました。



国体選手選考に向けて練習中の筆者

じように引く為に、基本の姿勢と構えに注意し、引分けの方向を意識して、縮まないように離れる。このことを常に頭に置いて練習しました。中りがなくなり、挫けそうになる時もありましたが、豊丘の仲間や、藤澤先生、強化部の先生方、そして一緒に国体を目指す仲間にも励まされ、信じて頑張っていました。

春先から射も安定し始め、だんだんの中も出てきました。自信が持てるようになり、余計なことを考えずに自分のやるべきことをすれば、結果もついてくるんだと思えるようになりました。そして京都大会に臨みました。まずは予選。気持ちを落ち着かせて

引きました。練習の成果が出たのか、いつもと変わることもなく気持ち良く引けました。射詰でも、気持ちを乱すことなく最後まで自分の射ができました。終わってみたら優勝という信じられないご褒美がついてきてくれました。まさか私が優勝なんて今でも信じられず、人ごとの様な感じています。

自分の出番が終わってしまったのに、最後の最後まで一緒にいて応援してくれていた仲間、本当に感謝しています。素晴らしい仲間と先生方、理解ある家族に囲まれ、弓が引けることを、本当に幸せに思います。これに満足することなく、次は国体を目指し、頑張りたいと思います。

「全日本弓道大会」

中村 宏 五段(諏訪支部)は四位入賞!

中村 宏



全日本弓道大会に出場し始め、今年で四回目となりました。恒例となっていた朝二時に諏訪出発の眠気と、一本外せば

終わりと緊張の中、幸運にも四位に入賞する事ができ自分でも驚いていました。今年八寸的を一本的中させました。五位決定の遠近競射で(二十五人居ました)長時間待たされましたが、入賞が確定していたのでみんな口元がゆるんでいたのを覚えています。そんな中に一緒に来ていた高山さんが残っていました。八寸的なんて引いたこと無い、と言っていた割にはピンバシと

的中させていき、見事優勝という快挙を成し遂げました。一緒に弓を引いている仲間からこのような素晴らしい成



仲間と競射中の筆者

績が出たことにすごく感激しました。自分もまた次回入賞できるように仲間たちと切磋琢磨して行きたいと思えます。またたく余談ですが、大会の他に、京都に行くもう一つの楽しみが京都観光です。しかし毎年となると行く場所が無くなってきました。今回はなかなか決まりませんでした。お勧めの場所など知っている方おられましたら、ごっそり教えていただけると嬉しいです。

《強化部 科学委員会 研究報告②》
『離れにおける手の内の働きと弓矢の動き』について

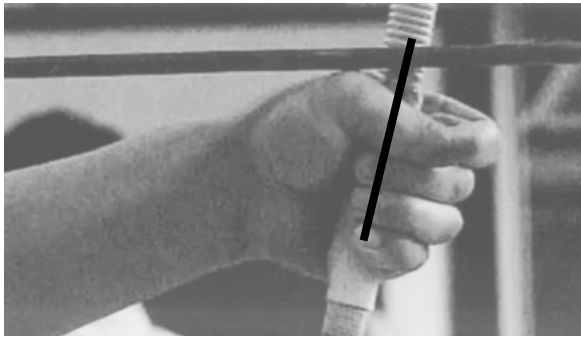
強化部 科学委員会 内山 喜照

前回に引き続きまして、紙面をお借りして強化部科学委員会の報告をさせていただきます。今回は離れにおける手の内の働きと弓矢の動きについて解析した結果を掲載します。



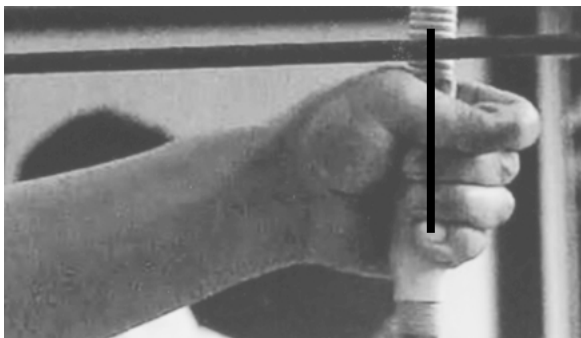
(1) 会の状態では、弓の握りの部分は写真①のように的側に約十度傾いた状態になります。これは握りの部分が弓の中央よりも下部にある和弓の特長によるもので、射手によらず共通です。角度については弓の長さ、矢の水平（ねらいの高さ）に

依存します。



写真① (会)

(2) 離れの直後、写真②のように弓は起き上がり地面に対してほぼ垂直になります。矢は動き始めていますが、矢羽の部分や弦はまだ手の内のところまで到達していません。写真①との時間差は〇・〇二五秒で、人間が反射で反応できる速さではありません。手の内がしっかりとできている人は、手首が動かず手の中で弓だけが動いて起き上がり



写真② (離れ)

ます。また、この時点で矢は親指からわずかに浮いています。

(3) 弦から矢筈が離れ、矢が放たれる瞬間です。矢が羽の高さ分くらい浮いていて、手の内のところを通過しているのがわかります。弓は手の内の押ししている部分から離れ、的側に飛び出そうとしていきます。正しい手の内であれば、弓が飛び出そうとするのを中指、人差し指、小指の三本で受け止める形になります。このときの弓は下側から膨らむ形になっており、矢をより遠くに飛ばそうとする力として作用します。



写真③ (矢が放たれる瞬間)

なお、的中に関しては、ほぼこの時点で決しており、この後の動きは矢所に直接関係しませんが、正しい力の働きの残心につながるということにはいまでもありません。

(4) 弓返りをし始めている段階の状態です。的側に飛び出そうとする弓を二本の指で受け止めています。このとき、弓は手の内の中で自由に動ける状態となっているため、角見の働きによって生まれた回転のエネルギーによって、この後に弦は手の内の周りをほぼ一回転します。弓返りをしない射手はこの時点で弓を握ってしまうので、弦がこの位置にとどまったままになります。弓返りが起こるのは、完全に矢が飛び出したあとというのが写真④からわかります。写真④で見る弦はまったくのようですが、この時点での弦はまだまったくのびた状態ではなく振動しながら波打っています。



写真④ (弓返り)

【まとめ】

会における正しい手の内の働きが、離れの際の〇・〇二五秒ほどの間に弓を押す力として作用し、その力が弦を通して矢を押し出していることがわかりました。また、弓の握りが中央よりも下にあるという和弓の特徴から、離れの瞬間に弓が立ち矢を押し上げて、より遠くに矢を飛ばす力として作用していることが確認できました。

このような和弓の特性に合った正しい手の内が、矢とびや的中に大きく影響することが映像からわかります。

全日本弓道選手権大会

ブロック予選会県代表決まる

五月九日、松本市弓道場で予選会が行われ、本年度の全日本弓道選手権の北信越ブロック予選会出場の長野県代表が男女各五名、決まりました。

代表選手は次の各選手です。

《男子》

- 杉田 博(松本)、平澤敏弘(飯伊)、郷道隆志(中高)、奥山雄三(上小)、荒川 保(安曇)

《女子》

- 中村美穂(上伊那)、久保田智恵(上伊那)、真関志野(松本)、高地美佐子(上小)、春原由美子(上小)

ブロック予選会は七月二十五日(日)に富山県射水市で開催されます。本県選手の活躍と健闘を祈ります。

速報!

千葉県体の選手決定!

六月十二〜十三日、県営飯田弓道場で行われた千葉県体の最終選手決定戦の結果が届きましたので報告します。

《少年男子選手》

- 野沢和樹(東海大)、福沢潤哉(上田)、藤森千友貴(諏訪)

《補欠》小林佑輔(豊科)

《少年女子選手》

- 宮越 幸(諏訪)、瀧澤知世(長野)、早野恵利(長野)

《補欠》山田麻衣子(諏訪)

《成年男子選手》

- 平澤敏弘(飯伊)、志村 仁(諏訪)、亀岡英司(南佐久)

《補欠》市川隆光(諏訪)

《成年女子》

- 栗林 薫(松本)、高山寿恵(飯伊)、山田静香(上伊那)

《補欠》浦野恵未香(松本)

なお、今後の国体関係の日程は次の通りです。

- 北信越国体(富山県) : 8/21 ~ 22
- 本国体(千葉県) : 10/1 ~ 4

講習会報告

指導力向上指導者講習会に参加して

長野支部 教士七段 古澤 金蔵

五月十五日、十六日と平成二十一年度の北信越地区指導者講習会が、松本市弓道場で開催されました。

一日目の午後の講話は、主任講師岡崎廣志先生でした。午前の一手行射の講習では、さすが各県の代表者であり、「うまい」との一言から始まりました。

しかし、武道としての射を求め、その人なりの特徴のある射、よい意味で個性を生かし感銘を与える射に、どう脱皮していけるか。いつもうまく引けるとところで調子を合せているため、邪念を持った弓の繰り返しになっていないか。小さな部分で全体をつくるのではなく、大きな全体の中で小さな部分を作っていくように話されました。

五月十五日、十六日と平成二十一年度の北信越地区指導者講習会が、松本市弓道場で開催されました。一日目の午後の講話は、主任講師岡崎廣志先生でした。午前の一手行射の講習では、さすが各県の代表者であり、「うまい」との一言から始まりました。しかし、武道としての射を求め、その人なりの特徴のある射、よい意味で個性を生かし感銘を与える射に、どう脱皮していけるか。いつもうまく引けるとところで調子を合せているため、邪念を持った弓の繰り返しになっていないか。小さな部分で全体をつくるのではなく、大きな全体の中で小さな部分を作っていくように話されました。

二日目の石井先生の講話は、主に指導員養成講習会についての内容でした。仕上げ行射を変更してまで、射技研修を実施し、延べ四時間近く、射技指導をしていただき、量だけでなく大変に中身の濃い内容で終了しました。

以上、講習会の報告とします。

基本的姿勢・動作の研修では、石井勝之先生より今年の伝達事項として、入退場について、姿勢だけでなく心を込め、目標物への屈体後、きちんと正



講習会の講師とともに参加者全員で

祝！教士合格

京都定期中央審査を終えて

“亡き師にほめて頂けるように修練したい”

松本支部 教士六段 田中 正彦

私が仕事の関係で松本の地に来て、早いもので十一年が経ちました。

松本に来る以前の鳥取では、広島県弓道連盟会長であり中国地域弓道連合会会長の範士八段大野博孝先生(当時)と大日本武徳会正法流範士九段林正浩先生とに師事を受けておりました。

転勤後、大野先生とは中央審査会でしかお目にかかれる機会がなくなりましたが六段に昇段した平成十三年の審査会では、これもご縁なのか、大野先生を目の前にしての受審でした。

審査会後「良かった。良かった！」と涙を流して喜んで頂いたことを、今でも昨日のように思い出されます。

しかし、その大野先生も今年一月十日に逝去され、お元氣なうちに、この度の教士昇格の報告が出来なかった自分の不甲斐なさを悔やんでいます。

もう一方の林先生は吉田能安先生のお弟子さんで、「離れとは、握ることなり。」を口やかましく、ご指導頂きました。

もう両先生にお目にかかることは出来ませんが、私がそちらに行った時に

ほめて頂けるように、今後とも修練に励んで行きたいと思料いたします。

また、昨年は全日本弓道選手権の強化選手として、指導を受けました。

北信越ブロック大会では散々な結果でしたが、優勝や入賞経験豊富な弓士の射を拝見出来る機会を与えて頂いたことに対し、お礼申し上げます。

最後になりましたが、今回の昇格に付きましては県弓連の弓士の皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。

今までご指導頂きました諸先生方の下へ少しでも近づくことを恩返しとし、私が頂戴したものを次に受け渡すことを使命として、精進いたします。



筆者近影

私と弓道

長野支部五段 平岩 真吾

「弓道が大好き」最近、改めてこんな心境を再確認することができました。

私は福祉系の仕事に就いているのですが、仕事と弓道と並列して取り組む自分自身に、最近まで疑問を感じていました。それは「社会人になっても相変わらず弓道に取り組んでいて良いのだろうか。もつと世界の現状や情勢に肌で触れて体験し、福祉の学を深め、色々な資格取得を通じて知識を広げるべきではないのだろうか。」「まだ学生気分になり、あの頃の思い出をただ延長させたいだけなのではないだろうか。」といった悩みに、長らく自問していたのです。

そんな時に周囲の先生方より、「そのうち色々なことが忙しく、弓道がやりたくてもできなくなる時がやってくる。できるうちは、思いっきりやってもいい。」「一日のうち、己と真正面から向き合える、そんな

時間が大切ではないか。」という、とてもあたたかい助言を頂きました。私は今迄にも、とても多くの方々に甘え、支えられて今日まで弓道を続けて来ることができました。今更こんなことに悩むとは、弓道とも自分自身とも向き合えていない、私はとんだ未熟者でした。「射即人生」と学びましたが、的を鏡に心を映し、一箭と対峙して羨・慎み・和敬・克己・反省等の徳目の体得を目指し、出会えた多くの恩師や仲間の全てに感謝して、社会に貢献・還元できるように、また家庭や生涯を邁進・謳歌できるように、それを糧として志新たに、誠を尽くして真正面から弓道に取り組んでいこうと心に強く決意致しました。



長野運動公園弓道場にて

祝!
北村 彌昌 県弓道連盟 事務局長
〔長野県体育協会 有功章〕を受賞



このたび県弓道連盟より推薦をいただき、長野県スポーツ振興功績者表彰にて、有功章を授与されました。授与式は、去る三月二十四日、長野県庁講堂において、村井仁体協会長(知事)より一人ひとりに授与されました。身に余る光栄と、感謝の気持ちで一杯であります。弓道を始めて五十余年になります。この間多くの方々から大変なご指導ご

支援をいただきました。未熟な私が現在も弓を続けることができるのもこのお陰と思っております。このお礼として、できることがあればと県弓道連盟の事務局をお引き受けいたしました。しかしまだ不慣れの点が多く、弓友の皆様方にご迷惑をおかけして对不起です。多くの皆様のおかげをいただいております。感謝です。これを機会に自分自身に鞭打って精一杯のご奉公をしたいと決意いたしました。今後ともどうぞよろしくお願ひし一言お礼の言葉といたします。

祝!
高井 忠史 上田市弓道協会 会長
〔上田市 功労賞〕を受賞

上田市では、このたび市政発展への永年の貢献を讃え、各分野で功績のあった方々への表彰がありました。教育・文化・スポーツ部門では高井忠史教士が、上田市弓道協会理事長、副会長、会長を歴任、後進の指導育成、市民への健康増進、初心者弓道教室開設など、スポーツの振興に、特に優れた功績を残されたとして、母袋創一上田市長からその功績を讃え、功労賞、記念品が贈られ、表彰されました。

平成二十年には、(財)長野県体育協会からも、社会体育の普及と、振興に多大な貢献をされたとして、功績表彰を受賞されております。



表彰式での記念写真

先生の、今後ますますのご活躍と、ご健勝を、心からお祈り申し上げます。(鷹野 良信)

弓仲間紹介

木曾義仲弓道場

木曾支部 錬士五段 林 義泰

昭和五十七年春、義仲公の八百年祭が木曾谷を挙げて盛大に行われました。菩提寺の住職は個人で、三人立の小さな道場を建て、有志を集めて弓道を始め、記念事業の一つにしました。



楽しく懇親会をします。松のカップを三位迄、賞品は全員に鉢植の花を、という他に例のない大射会があります。(写真は昨年のです) 四町村の合併で、木曾町となりました。部も町の体協の弓道部となり、二十数名が部員として、熱心に楽しく稽古に励んでいます。町のイベント関所まつりにも協力させて貰います。木曾福島関所跡の仮設道場で「祝関所まつり」の六枚の板割りを行射し、大勢の観光客の皆さんから拍手喝采を浴びています。

町の道場使用料は年間二千元です。部員は何時でも自由に使用できます。朝でも昼でも、夜は十時迄全く自由に使用できる事は、仕事を持つて好都合、ありがたい事です。道場の清掃も、的張りも部員が自発的にやります。十二日は練習会で、矢渡しの勉強、十八日は支部例会が実施されます。こんな自主性尊重の、自由に楽しく弓道の勉強ができる道場を、守っていきたく願っています。

特筆したい行事に「県下乙女大射会」があります。今年第九回、六月二十日に行われました。小岩井八重子先生を先頭に、二十余名の乙女が、矢道一面真紅に咲き乱れる河原ナデシコを賞でながら、乙女の競射に全力を傾け、昼は德音寺の書院で

ねりんピック便り

今年度全国大会(石川県)代表決まる

五月二十二日(土)松本市弓道場で行われた二十二年度ねりんピック県大会兼全国大会予選会で次の選手が本県代表選手として選ばれた。

○選手氏名(所属支部名)

- 佐藤明次(中高)、征矢 憲(上伊那)
清水克也(上小)、柴 種徳(上伊那)
加藤明美(長野・女子枠)

○補欠

- 菅沼昭彦(飯伊・監督兼任)
丸山仙子(松本・女子枠)

『写真は前例左より、柴、清水、佐藤、征矢、後列左より、菅沼、加藤、丸山の各選手。』
尚、大会結果については、『大会結果』欄に記載してあります。

来年度全国大会(熊本県)の代表は、今年九月二十五日(土)東御市菅弓道場で行われる予選会(競技部主管)で決定されます。
参加希望者は要項に従って、期日までに申し込んで下さい。大勢の参加を期待しております。



ねりんピック代表選手の面々

大会結果

◆春季北信越学生弓道大会

○3月5〜7日・福井県立武道館

▽男子団体

- 優勝 信大A
2位 信大B

信大の優勝は2年ぶり27回目

▽女子団体

- 優勝 信大A
2位 信大B

信大の優勝は4年ぶり18回目

▽男子個人

- 優勝 濱 隆彦(教育2年)
▽女子個人
2位 石原 愛(農学3年)
3位 田倉有利(経済2年)

◆穂高神社御奉射祭弓道大会

○3月17日(日)穂高神社弓道場

▲高校団体の部

- 1位 穂高商業A
2位 大町男子C
(田中竜太、依田章吾、高野修一) 9中
3位 豊科男子A
(小林洋希、高橋 俊、小林祐輔) 9中

▲高校個人の部

- 1位 白澤佑起(大町高校男子B) 6中
2位 田中竜太(大町高校男子C) 6中
3位 永崎智仁(松商学園高校F) 5中

▲一般団体の部

- 1位 混成A
(猿田功一、河野利一、鈴木清一) 7中
2位 穂高OG
(奥田美咲、石曾根未幸、長沢千春) 7中
3位 運動公園B
(松下はるみ、加藤明美、甘利若男) 6中

▲一般個人の部

- 1位 亀岡英司(帝産ロッジ) 6中

◆第25回塩尻市弓道大会

○3月21日 塩尻市弓道場 参加者306名

▲個人の部

- 1位 栗林 梢(蟻ヶ崎高校C)
2位 小澤剛志(弓魂A)
3位 小林洋希(豊科高校A)

▲団体の部

- 1位 菁莪館(生田憲克・堀田健一・土川俊市)
2位 弓魂A(笹岡達也・伊藤 綾・小澤剛志)
3位 塩尻志学館高校A
(平澤将太・中川明則・萩場卓磨)

◆第5回野辺山洗心弓道大会

○4月10日 野辺山帝産ロッジ洗心弓道場

▲個人の部(近的20射・遠的20射)

- 1位 亀岡英司(南佐久支部) 37中
2位 日向 力(南佐久支部) 29中
3位 安藤直貴(須高支部) 28中
4位 植松 守(佐久支部) 26中
5位 上原 徹(南佐久支部) 24中

◆善光寺弓道大会

○4月11日 善光寺弓道場 141名参加

▲男子個人(8射)

- 1位 山下 貴(信州大学) 8中
2位 加藤雅己(信州大学) 7中
3位 斎藤秀和(長野大学) 6中
4位 伊藤貴啓(善光寺) 6中
5位 峰村和樹(信州大学) 6中

▲女子個人(8射)

- 1位 浦野恵未香(国宝松本校) 6中
2位 宮島さおり(長野運動公園) 6中
3位 岩岡晴美(菁莪館) 6中
4位 片山史子(信州大学) 6中
5位 西川依里(信州大学) 6中

▲団体戦(32射)

- 1位 信州大A
(岩塚拓樹・平嶋 学 濱 隆彦・山下 貴) 23中
2位 善光寺A

◆平成22年度長野県勤労者弓道選手権大会

兼第57回全日本勤労者弓道選手権大会長野県予選会

○4月11日 駒ヶ根弓道場 参加者11チーム35名

▲団体(予選通過4チームによるリーグ戦)

- 1位 長野県信用組合
(吉田博行・塩沢宏幸・井垣貴夫) 2勝1分
2位 山二発條A
(志村 仁・今井文明・伊藤大幸) 2勝1敗
3位 中電長野A
(牧内和宏・神田祐司・小木曾智成) 1勝1敗1分

▲個人(予選通過者による射詰競射)

- 1位 今井文明(山二発條)
2位 志村 仁(山二発條)
3位 掛川 渡(東信教員)

▲射技優秀賞

- 長屋麗子(山二発條)
塩沢宏幸(長野県信用組合)

◆県下弓道木曾義仲大会

○5月3日 木曾義仲弓道場 参加者145名

▲個人(8射)

- 1位 平岡菜枝(赤穂A) 7中
2位 大島健裕(木曾義仲B) 7中
3位 小島 悠(伊那北B) 6中
4位 上條早紀(松商学園A) 6中
5位 西澤 徹(大町) 6中

▲団体(高校の部 24射)

- 1位 松商学園B
(吉川祐貴・五明大季・村山勇太) 17中
2位 下諏訪向陽
(武田拓朗・中山啓介・高木勇輝) 16中
3位 赤穂A
(池上絢香・宮下春香・平岡菜枝) 14中

▲団体(一般の部 24射)

- 1位 弓魂B
(橋本和憲・井上 剛・吉川 恵) 16中
2位 弓魂A

- 3位 菅岡達也・山田静香・小澤剛志 13中
木曾義伸B
- (野田陽子・上田 昇・大島健裕 13中

◆第37回佐久鯉祭り弓道大会
○5月5日 駒場公園弓道場 参加者186名

- 近似的個人(一般8射)
- 1位 日向 力(南佐久支部) 7中
- 2位 生田憲克(諏訪支部) 7中
- 3位 田村 稔(佐久支部) 7中

- ▲団体(高校の部)
- 1位 岩村田A
(畠山和也・浅井健也・岩間史恵) 18中
- 2位 小諸B
(清水大樹・上坂 諒・石原文太) 16中
- 3位 野沢南A
(高柳 凱・石井 文・佐藤優衣) 13中

◆第61回全日本男子弓道選手権大会
第43回全日本女子弓道選手権大会 長野県予選会

- 5月9日 松本市営弓道場
- ▲第61回全日本男子弓道選手権予選会決勝結果
- 1位 杉田 博(松本支部)
- 2位 平澤敏弘(飯伊支部)
- 3位 郷道隆志(中高支部)
- 4位 奥山雄三(上小支部)
- 5位 荒川 保(安曇支部)
- ▲第43回全日本女子弓道選手権予選会決勝結果
- 1位 中村美穂(上伊那支部)
- 2位 久保田智恵(上伊那支部)
- 3位 真関志野(松本支部)
- 4位 高地美佐子(上小支部)
- 5位 春原由美子(上小支部)

◆第47回池田町弓道場開設記念県下弓道大会

- 5月9日 池田町弓道場 参加者208名
- ▲個人の部
- 1位 西澤 徹(大町いろは)
- 2位 吉川祐貴(松商学園A)
- 3位 深井実彩(蟻ヶ崎A)
- ▲団体の部(高校)

- 1位 松商学園G
(長村瑠美・神田麻衣・清水彩香)
- 2位 蟻ヶ崎A
(平澤早希・岡村奈実・深井実彩)
- 3位 松商学園A
(吉川祐貴・五明大季・村山勇太)

◆平成22年度高校総体地区予選結果
○5月14日～15日

- ▲北信地区
- ▲男子個人(8射)
- ①若松孝治(松代) 7中 ②高橋政也(飯山北) 7中
- ③澤田 士(日大) 7中 ④石原 晃(屋代) 7中
- ⑤田中 優(長野南) 7中
- ▲女子個人(8射)
- ①湯本倫子(須坂) 7中 ②早野恵理(吉田) 7中
- ②渡邊 舞(高専) 6中 ④松本彩華(中野西) 6中
- ⑤矢澤美季(日大) 6中
- ▲男子団体(40射)
- ①屋代B 25中 ②須坂B 23中 ③吉田B 23中
- ▲女子団体(40射)
- ①中野西A 26中 ②飯山B 24中 ③吉田B 23中

◆平成22年度高校総体地区予選結果
○5月14日～15日

- ▲東信地区
- ▲男子個人(8射)
- ①金子 周(上田) 7中 ②石田裕樹(上田東) 6中
- ②窪田貴一(上田東) 6中 ④井出琢也(岩村田) 6中
- ⑤関尾恭平(上田中) 6中
- ▲女子個人(8射)
- ①柳沢伶奈(岩村田) 7中 ②小池優佳(上田東) 6中
- ③佐藤絵梨(小諸) 6中 ④柳澤真純(柴谷丘) 6中
- ⑤橋本あかね(小諸) 6中
- ▲男子団体(40射)
- ①上田A 25中 ②岩村田A 23中 ③上田東A 21中
- ▲女子団体(40射)

◆平成22年度ねりんピック県大会
兼全国大会予選会

- 5月22日 松本市営弓道場
- ▲個人順位(12射) 参加者30名(内女子2名)
- 1位 佐藤明次(中高支部) 9中
- 2位 征矢 憲(上伊那支部) 8中
- 3位 清水克也(上小支部) 8中
- 4位 柴 種徳(上伊那支部) 7中
- 5位 菅沼昭彦(飯伊支部) 7中

◆第46回小満祭弓道大会

- 5月22日 白田稲荷山弓道場・参加数148名
- ▲一般団体
- (4人1組、一人8射、計32射、参加数8チーム)
- 1位 佐久サク
(市川元宏・佐藤陽一・金原 正・増田 亮) 22中
- 2位 白田弓道会A
(上原 徹・菊原秀浩・亀岡英司・日向 力) 21中
- 3位 御代田
(斎藤秀和・行田大樹・田村 脩・清水克也) 19中
- ▲高校団体
(高校生は団体のみ、4人1組、計32射、参加数24チーム)
- 1位 上田東B
(佐藤 梓・池田紗綾・小池優佳・荒井彩紀) 23中
- 2位 上田東C

- ①上田東A 21中 ②野沢南A 17中 ③野沢南B 17中
- ▲[中信地区]
- ▲男子個人(8射)
- ①吉川裕貴(松商) 8中 ②村山勇太(松商) 8中
- ②前田聖也(豊科) 8中 ④林 貴徳(青峰) 8中
- ⑤座間俊兆(美須ヶ) 7中
- ▲女子個人(8射)
- ①坂本華菜(梓川) 6中 ②福富真緒(美須ヶ) 6中
- ③炭かおる(深志) 6中 ④遠山和泉(美須ヶ) 6中
- ⑤片瀬雅菜(蟻ヶ崎) 6中
- ▲男子団体(40射)
- ①深志A 27中 ②松商A 25中 ③青峰A 22中
- ③志学館 22中 ⑤南安豊農 20中
- ▲女子団体(40射)
- ①深志A 24中 ②松商A 18中 ③美須ヶB 17中

◆第53回近県弓道上田大会

- 5月30日(日)・上田城跡公園弓道場
- 参加者数(高校 275名、一般100名)
- ▲高校の部(団体のみ) 男子
- 1位 上田A
(福沢潤哉・高松和貴・中村祐貴)
- 2位 上田東A
(横関敏和・竹内鴻志・若松篤志)
- 3位 石田祐樹・滝澤 優
(宮下浩平・田上健太・甲 東仁)
- ▲高校の部(団体のみ) 女子
- 1位 上田東A
(土屋 恵・佐藤 梓・池田紗綾)
- 2位 上田A
(東川ひとみ・飯吉麻奈・内堀香穂)
- 3位 長野南B
(庭 ひとみ・西澤 葵・宮川由佳)

◆第53回近県弓道上田大会

- ▲個人の部、団体と兼ねる 参加数52名
- 1位 亀岡英司(南佐久) 8中
- 2位 金原 正(佐久) 7中
- 3位 行田大樹(御代田) 7中
- 4位 増田 亮(佐久) 7中
- 5位 水田明美(上伊那) 6中

◆第53回近県弓道上田大会

- ▲一般の部、団体(参加人数100名)
- 1位 信大A
(那須将樹・加藤雅己・岩波哲也)
- 2位 須坂
(永藤 聡・小山謙太郎・安藤直貴)
- 3位 上田城A
(原周一郎・大蔵 務)

◆第53回近県弓道上田大会

- ▲一般の部、団体(参加人数100名)
- 1位 信大A
(那須将樹・加藤雅己・岩波哲也)
- 2位 須坂
(永藤 聡・小山謙太郎・安藤直貴)
- 3位 上田城A
(原周一郎・大蔵 務)

(佐藤 忍・高橋正弘・川俣 晃
安藤教光・宮崎 晃)

▲一般の部 個人

1位 小山謙太郎・2位 白河貴広
3位 内山貴之・4位 大貫智也
5位 中村俊太

◆22年度長野県高校総合体育大会

○6月5日～6日 長野運動公園弓道場

▲男子個人(12射) (1位・2位が全国大会出場)

1位 野沢和樹(東海大三) 11中
2位 前田聖也(豊科) 11中
3位 伊藤加尉(伊那北) 10中

▲女子個人(12射) (1位・2位が全国大会出場)

1位 小林千華(赤穂) 11中
2位 熊田ゆい(下諏訪向陽) 10中
3位 松本彩華(中野西) 9中

▲男子団体(1位が全国大会出場)

1位 岡谷南高校
2位 長野日大高校
3位 東海大三高校

▲女子団体(1位が全国大会出場)

1位 下諏訪向陽高校
2位 豊科高校
3位 飯田高校

◆第45回県下弓道権川大会

○6月6日 権川弓道場

▲個人(12射)

1位 山田静香(弓魂△) 12中
2位 永藤 聡(須坂F) 10中
3位 小澤剛志(弓魂△) 10中
4位 久保田智恵(伊那) 10中
5位 柴 種徳(伊那) 10中

▲団体(3人立・36射)

1位 弓魂A
(小澤剛志・山田静香・阿部直登) 28中
2位 伊那
(柴 種徳・中村美穂・久保田智恵) 28中
3位 須坂F
(小山謙太郎・安藤直貴・永藤 聡) 25中

◆第27回無相大師奉賛弓道大会

○6月5日 中野市宮弓道場 参加数50名

▲個人(8射)

1位 小山謙太郎(須坂) 6中
2位 大原由美子(長野) 6中
3位 郷道隆志(中高) 6中

表彰

◆県体協 有功章 表彰(3月24日付)

北 村 彌 昌(弓道 駒ヶ根市)

◆上田市 功労賞

高 井 忠 史(教育・文化・スポーツ部門)

審査合格者

京都定期中央審査(5月4日)

▽教士 田 中 正 彦(松本支部)

東海地区臨時中央審査

▽六段 滝 澤 武 子(松本支部)

お悔やみ申し上げます(敬称略)

五段 杉 山 平八郎(86歳)
飯田市桜町1の27 4月22日(逝去)

教士 六段 吉 澤 金 房(67歳)
塩尻市片丘7090の2 6月4日(逝去)

「たすいじ」

いつものように自分の弓に弦を張り、弓を引く準備を行う。弓立に置いてある張り弓の形は和弓の特徴そのものであり、大変美しい。釈迦に説法で申し訳ないが、竹弓は、弦を張ることで弦を張る前の元の形から、逆に反らして使用時の弦を張った形にしている。例えて言うなら、不等号の記号でいう「大なり」の形の弓に弦を張り、強制的に「小なり」の形にしている。

弦が張られている弓は、弦がさがると元の形に戻ってしまうので、構造的に不安定である。言い方を変えれば、この不安定さを利用して矢を飛ばしている。

しかし、この不安定な状態の弓も、適切な弓把で弦を張ると、大きく引き絞って離れが出てもひっくり返ることなく、引く前の状態に戻る。つまり、適切な弓把で張った弓というのは不安定の中の安定な状態(局所安定な構造)にあるわけで、力学的に微妙なバランスの下にその形を見せてくれている。

このような和弓を作り出した先人の経験、知恵というのは本当に計り知れない。

(手塚信一郎)

弓道合宿予約随時受付中!

野辺山洗心弓道場

近的道場 18人立 1ヶ所 (床暖房完備)
12人立 2ヶ所
遠的道場 1ヶ所

〒384-1305
長野県南佐久郡南牧村野辺山1003
HP : <http://www.teisanlodge.com/>
ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861